

感染状況・医療提供体制の分析(2月1日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 *①～③は過去1週間合計	前回の数値 (1月25日時点)	現在の数値 (2月1日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	9732人 (518.5人)	6586人 (350.9人)	↓	感染状況コメント レベル4. 感染縮小の兆候があるが特別な警戒が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	1981人 (20%)	1357人 (21%)	↓	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	3842人	2456人	↓	陽性者は <u>人口10万人当たり351人</u> と減少傾向継続。季節性インフルエンザ流行水準が直近2年間より高く、注意報発令中。 感染縮小の兆候があり、確保病床と一般病床を合わせた病床使用率もようやく100%を下回る。今後も、免疫の減衰や変異株の置き換わりの状況を踏まえ、感染状況を注視する必要あり。 オミクロン株対応ワクチンの接種など感染対策の継続を。 「医療ひっ迫と県民へのお願い」
		倉敷市保健所	2109人	1549人	↓	
		備前保健所	902人	665人	↓	
		備中保健所	1057人	744人	↓	
		備北保健所	186人	123人	↓	
		真庭保健所	238人	105人	↓	
美作保健所	837人	608人	↓			
	その他	561人	336人	↓		
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	400人 (64%)	319人 (51%)	↓	医療提供体制コメント レベル4. 体制が逼迫していると思われる	
	④宿泊療養者数	73人	47人	↓	感染者数減少を受け、徐々に入院患者数や重症者数も減少。通常の医療提供体制へ回復傾向だが、院内と外来両方の陽性者対応に追われている状況が続く。	
	⑤自宅療養者数	9971人	6250人	↓		
	⑥重症者数	13人	6人	↓		